

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)マークイズ福岡 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境								3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.86	3.0	-	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.14	3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.44	3.0	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-	-	-	3.5
3.1 昼光利用		4.0	0.52	-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	3.0	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備	商業棟屋上にトップライトを設置し、2F~4Fに昼光を落とします。	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	3.0	-	-	-	
3.3 照度		-	-	3.0	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.48	3.0	-	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-	-	-	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.2
1 機能性		3.2	0.40	-	-	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.7	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.31	3.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.29	-	-	-	-	
3 内装計画	建物コンセプトと連動した内装デザインを行っています。	5.0	0.39	-	-	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	節水器具の採用、災害時利用に配慮した計画としています。	3.4	0.20	-	-	-
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
	3 電気設備		5.0	0.20	-	-	-
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
	5 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり	2 空間の形状・自由さ	店舗の階高は4m以上を確保した計画としています。 将来の間仕切り位置更新が可能な空間構成としています。	5.0	0.55	3.0	-	-
			5.0	0.45	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.33	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			5.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.14	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.11	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			4.0	0.54	-	-	4.0
BEI 非住宅 0.89 住宅(専有部) 0.83							
集合住宅以外の評価(3a.3b)			4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.22	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-
福岡市指定の節水型器具を採用します。							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		特定設備への雑排水利用を行います。	4.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-	-
店舗の更新・入れ替えに対応した計画とします。							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
ライフサイクルCO2を考慮した建物計画とします。							
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制		附置義務条例を満たした適切な駐車場・駐輪場を計画します。	5.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	0.50	-	-	-
2 振動			3.0	0.50	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-